

第 78 期 報 告 書

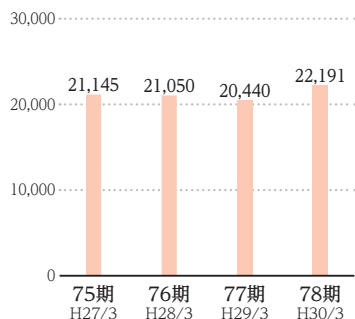
平成29年4月1日～平成30年3月31日

「人・食・味を豊に」



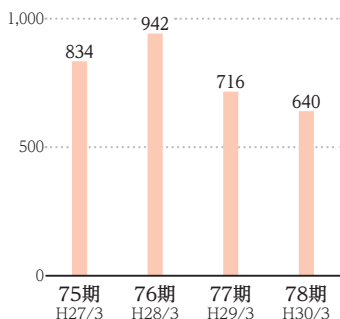
売上高

(単位:百万円)



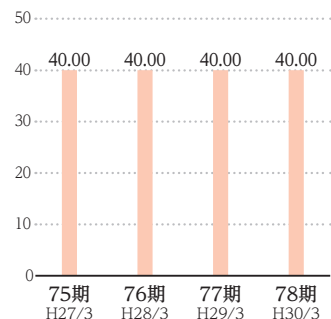
当期純利益

(単位:百万円)



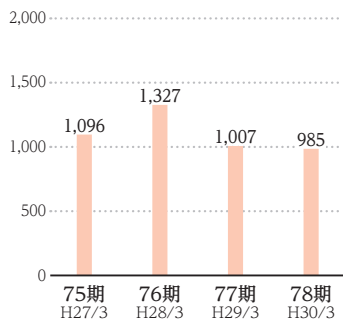
1株当たり配当金

(単位:円)



営業利益

(単位:百万円)



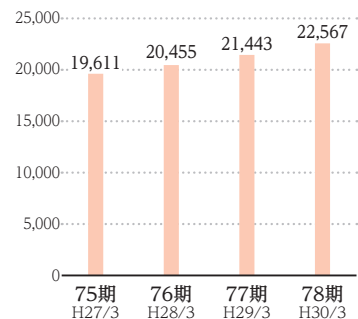
決算 ハイライト

Financial Highlights



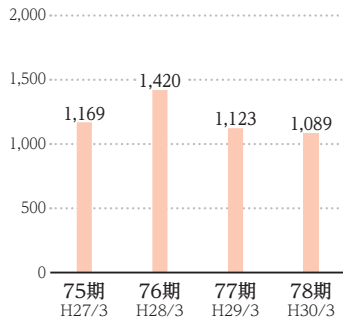
総資産

(単位:百万円)



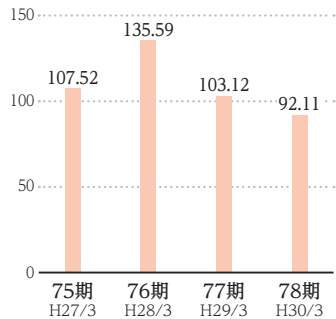
経常利益

(単位:百万円)



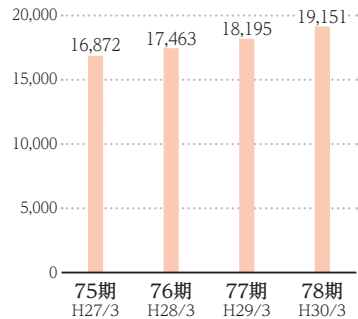
1株当たり当期純利益

(単位:円)



総資産

(単位:百万円)





ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第78期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)の営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月

代表取締役社長 橋本 淳

当期の概況

当期におけるわが国経済は、政府及び日本銀行による各種政策の効果等によりアベノミクス景気が戦後2番目の長さを記録するなど緩やかな回復が続いており、企業業績・雇用環境は改善の傾向が見られるものの、社会保障費負担の増加等に伴う家計の負担増により景気回復の実感なき経済成長となっております。また、米国新政権の政策実行力への懸念や英国のEU離脱問題の再燃や世界各地の地政学的リスクの増大等により世界経済に与える不安心理が増大し、依然として先行きは不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、食の安心・安全に対する関心が一層高まるとともに、原材料価格の上昇が依然続く状況にあり厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中で、当社は取引先のニーズを追求した提案型営業を強化し、さらに、既存設備の活用を重点に即席麺部門や粉粒体食品部門では合理化・省力化の推進を図り、経営効率の向上と利益目標の達成に取り組んでまいりました。

以上の結果、当期の業績は、売上高は22,191百万円と前年同期と比べ1,750百万円(8.6%)の増収となり、営業利益は985百万円と前年同期と比べ22百万円(2.2%)、経常利益は1,089百万円と前年同期と比べ34百万円(3.0%)、当期純利益は中華人民共和国にありました子会社を売却したことに伴い関係会社出資金売却損135百万円を計上したこと等により640百万円と前年同期と比べ76百万円(10.7%)の減益となりました。

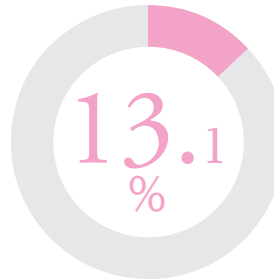
セグメント別の概要

チルド食品部門

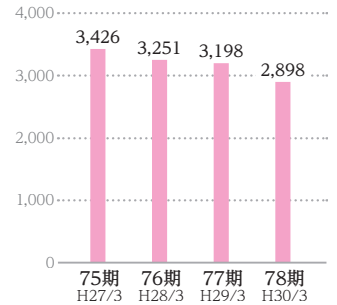
チルド食品部門は、昨年度にて製造を終了したため麺の影響と半生麺の受託が低調に推移したことにより、売上高は2,898百万円と前年同期と比べ300百万円(9.4%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は284百万円と前年同期と比べ52百万円(15.5%)の減益となりました。



売上構成比



セグメント売上高 (単位:百万円)

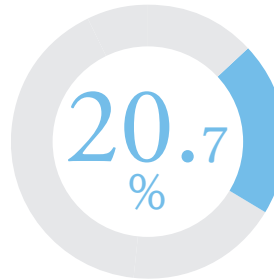


粉粒体食品部門

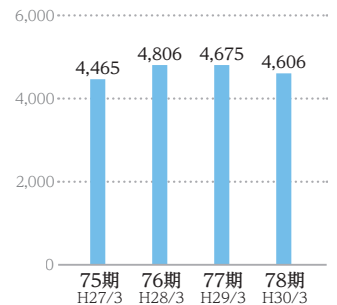
粉粒体食品部門は、粉末スープ及び顆粒製品の受託が伸び悩み、売上高は4,606百万円と前年同期と比べ68百万円(1.5%)の減収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は82百万円と前年同期と比べ8百万円(11.6%)の増益となりました。



売上構成比



セグメント売上高 (単位:百万円)

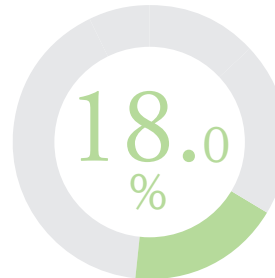


液体調味食品部門

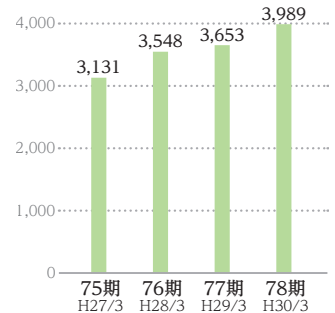
液体調味食品部門は、業務用調味液の売上が増加し、売上高は3,989百万円と前年同期と比べ336百万円(9.2%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は421百万円と前年同期と比べ58百万円(16.2%)の増益となりました。



売上構成比



セグメント売上高 (単位:百万円)

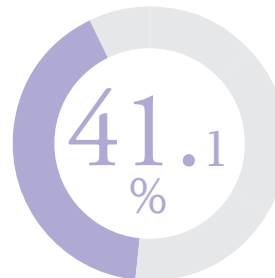


即席麺部門

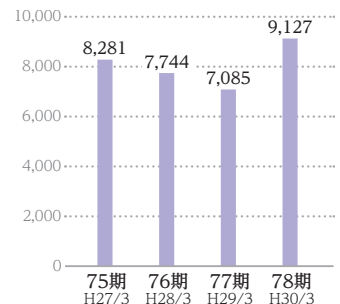
即席麺部門は、昨年3月に製造ラインを増設したことにより、売上高は9,127百万円と前年同期と比べ2,042百万円(28.8%)の増収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は新ラインの増設に伴う償却費及び諸経費の増加により164百万円と前年同期と比べ39百万円(19.4%)の減益となりました。



売上構成比



セグメント売上高 (単位:百万円)

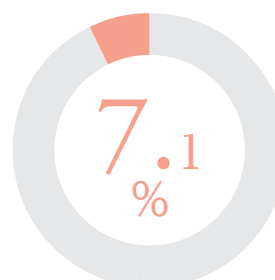


その他部門

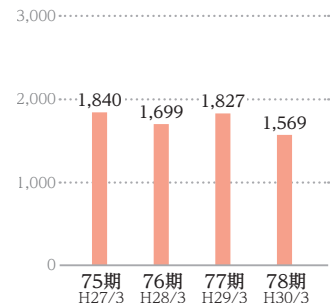
その他は、水産物の取扱いが前年と比べ減少したことに伴い、売上高は1,569百万円と前年同期と比べ258百万円(14.1%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は31百万円と前年同期と比べ2百万円(7.3%)の増益となりました。



売上構成比

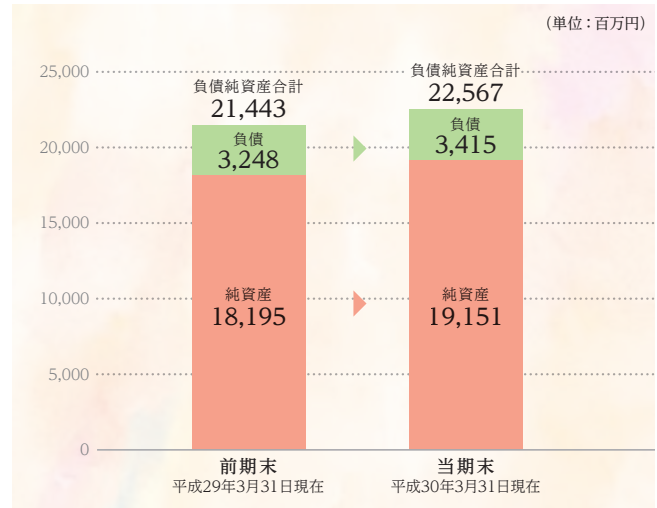
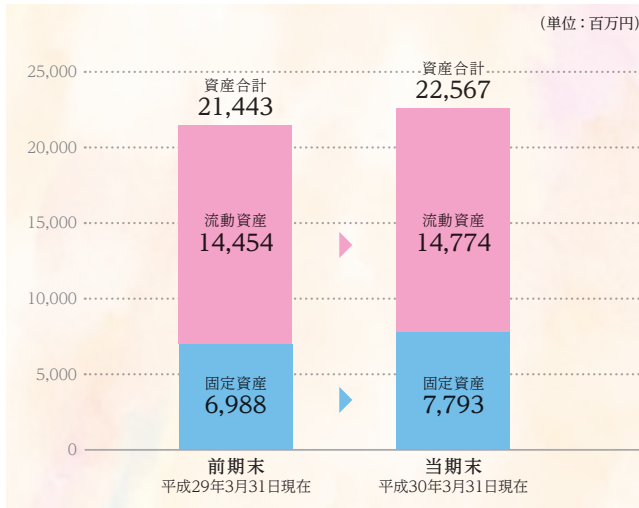


セグメント売上高 (単位:百万円)



決算の概要

貸借対照表の概要



当期の財政状態の概況

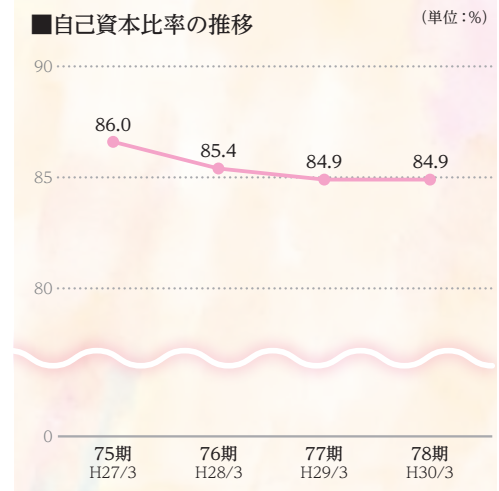
当期末における資産の部は22,567百万円となり、前期末と比べ1,123百万円増加しました。これは主に、流動資産において売掛金が307百万円増加し、固定資産において投資有価証券が850百万円、機械及び装置が357百万円増加したことによるものです。

負債の部は3,415百万円となり、前期末と比べ167百万円増加しました。これは主に、流動負債において未払金

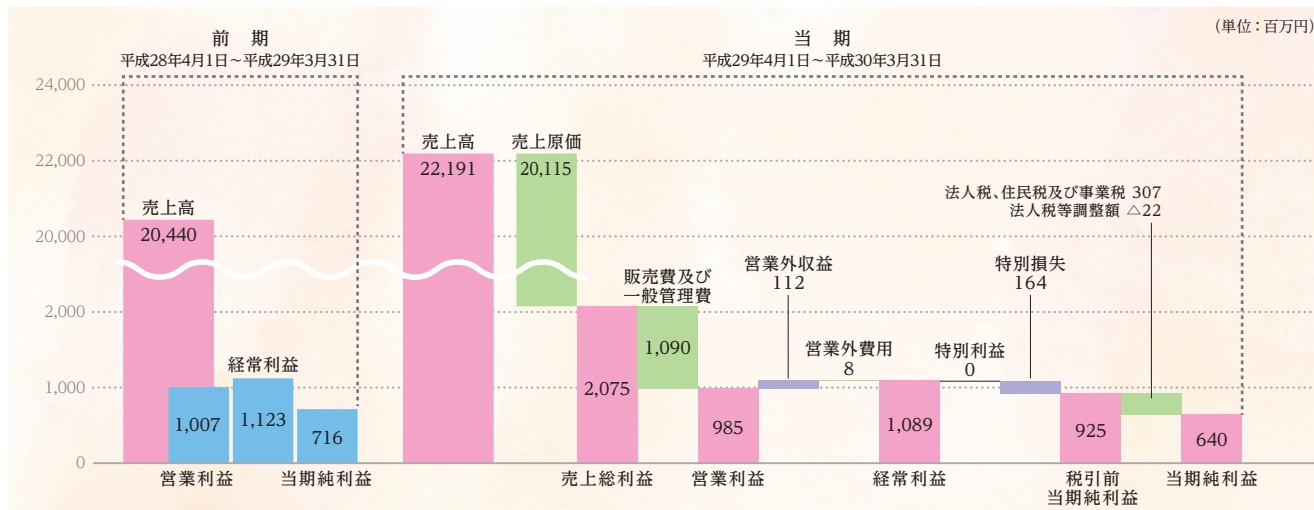
が420百万円減少しましたが、買掛金が206百万円、未払法人税等が93百万円増加し、固定負債において繰延税金負債が236百万円増加したことによるものです。

純資産の部は19,151百万円となり、前期末と比べ956百万円増加しました。これは、その他有価証券評価差額金が594百万円、利益剰余金が362百万円増加したことによるものです。

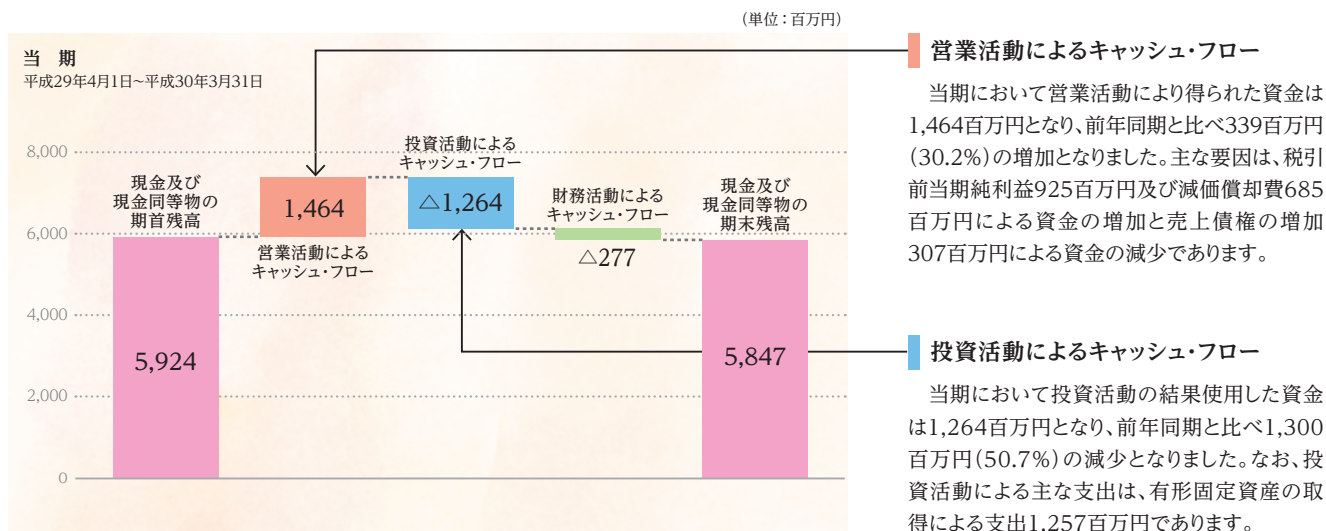
自己資本比率の推移



損益計算書の概要



キャッシュ・フロー計算書の概要



だし取り職人シリーズより液体タイプが**新登場!**

「だし取り職人 焼きあごつゆ」

あごの旨味はそのままで。美味しく手軽に使える！

美味しさの秘密は、**6**種のだし素材に本かえし

焼きあご

鰹節

いわしにぼし

鯖節

椎茸

昆布

の6種のだし素材を、醤油は丸大豆醤油を使用。
本かえし製法で、だしの風味を活かしたつゆに仕上げました。

お好きな量が
使える

和え物や煮物など、
お好きな量を使いたいとき、
あごだしの旨味を
プラスできます。

冷・温
どちらでも使える

夏はそうめん、
冬は温かいうどんに
ぴったりの
万能つゆです。



当社の概要

創 立	昭和19年10月21日
資 本 金	1,160百万円
本 社	〒470 - 2395 愛知県知多郡武豊町字川脇34番地の1
電 話	0569 - 72 - 1231 (代表)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市販用及び業務用の液体調味食品及び粉粒体食品等の製造販売 ・マルちゃん製品の液体調味食品、粉粒体食品、チルド食品及び即席麺等の受託製造

ユタカフーズの最新情報はホームページをご覧ください。

<http://www.yutakafoods.co.jp>

ユタカフーズ

検索

役 員

(平成30年6月27日現在)

代表取締役社長	橋本 淳
代表取締役常務	香川 崇弘
取 締 役	牧 清忠
取 締 役	川合 信市
取 締 役	大茂 為継
取 締 役	中村 好伸
常 勤 監 査 役	奥田 裕治
監 査 役	津田 明人
監 査 役	石川 吏志

事業所・工場



鳥取営業所／鳥取工場



本社／本社工場



株式の状況

発行可能株式総数	35,000,000株
発行済株式の総数(自己株式1,883,805株を除く)	6,948,506株
株主数	2,224名
単元株式数	100株

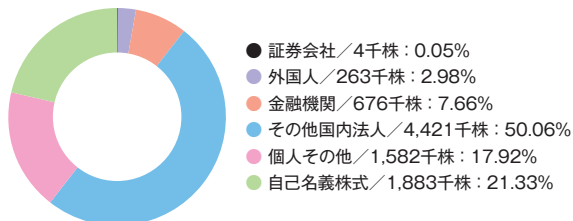
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東洋水産株式会社	3,533	50.85
MSIP CLIENT SECURITIES	251	3.62
株式会社榎本武平商店	210	3.02
ユタカフーズ従業員持株会	197	2.83
株式会社三菱東京UFJ銀行	101	1.46
株式会社三井住友銀行	101	1.45
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	93	1.33
株式会社愛知銀行	85	1.22
三井生命保険株式会社	80	1.15
中部飼料株式会社	80	1.15

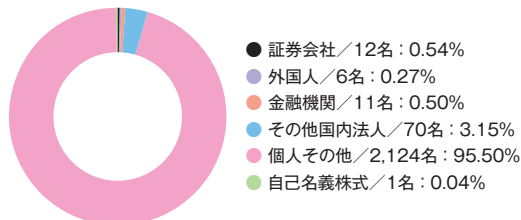
(注) 持株比率は自己株式(1,883,805株)を控除して計算しております。

株式の状況

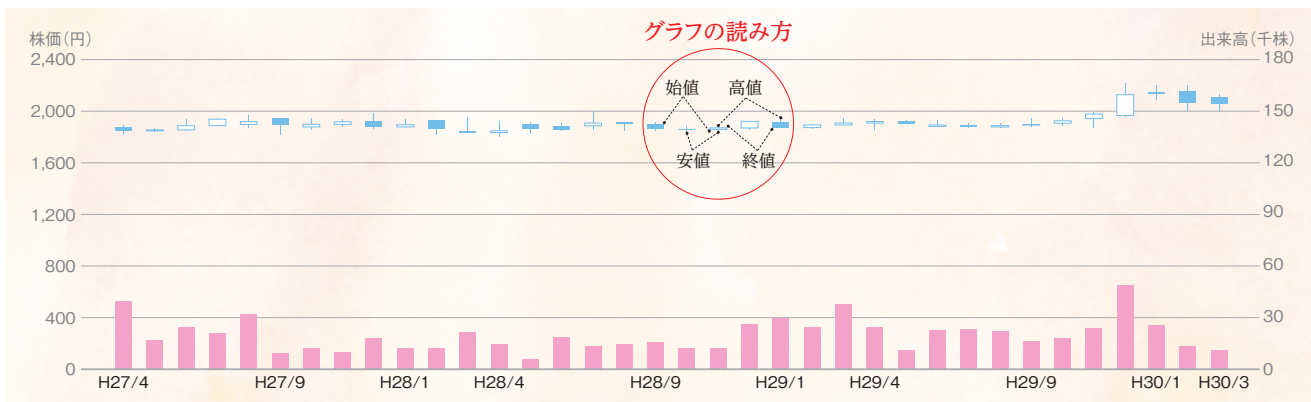
[所有者別株式分布]



[株主構成]



株価・出来高の推移



株主優待のご案内

毎年3月末日現在の株主名簿に記載された100株以上所有の株主様へ、株主優待として自社製品を贈呈しております。

100株以上500株未満所有の株主様

800円相当の自社製品

500株以上1,000株未満所有の株主様

1,500円相当の自社製品

1,000株以上3,000株未満所有の株主様

2,500円相当の自社製品

3,000株以上所有の株主様

4,000円相当の自社製品

株主優待品例



株式に関するお知らせ

《 単元未満株式の買取について 》

単元未満株式(100株に満たない株式)の買取を請求することができます。

当社では単元未満株式を買い取らせていただく「買取制度」をご利用いただけます。

買取制度 例…当社株式を120株保有の場合



《 配当金計算書について 》

配当金支払の際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払の都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

株式に関するお手続き等について

お手続き	お問い合わせ先	
	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
株主名簿記載事項の変更 商号・氏名、住所、代理人選任、変更など	口座を開設した証券会社にお問い合わせください。	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話:0120-782-031(フリーダイヤル)
単元未満株式の買取請求 その他お手続きに関する事項		
未払い配当金	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話:0120-782-031(フリーダイヤル)	

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。

